

全国数学教育学会 平成25年度総会・第38回研究発表会 プログラム

◎ 先にご案内しました時間とは若干異なる場合がありますので、ご注意ください。

<第1日> 6月22日(土) 13時30分～17時45分

開会行事・総会(13:30～14:30) 415教室

◎ 1件の研究発表の時間は40分間(発表20分・質疑応答20分)です。パソコンを使用する場合は発表者をご持参ください。

		A会場(411教室)	B会場(412教室)	C会場(413教室)	D会場(312教室)	E会場(314教室)
1	14:45 15:25	A-1 福田博人(広島大学大学院教育学研究科) 統計領域が数学教育に位置付く必然性	B-1 新井美津江(広島大学国際協力研究科) フィリピンにおける低中学年児童がもつ図形概念と困難性	C-1 小野田愛(岡山大学大学院教育学研究科院生) 関数学習における記号の変換過程に伴う理解の進展に関する研究 —記号論的アプローチの問題と概念ブレンドの理論を中心として—	D-1 森 敏之(兵庫教育大学大学院院生) 数学教育における言語力の育成に関する研究 —伝言ゲームを用いた実験授業—	E-1 大山乃輔(兵庫教育大学大学院生) 算数科における割合の概念形成に関する研究 ～割合学習の困難性に関する実態調査を通して～
2	15:30 16:10	A-2 伊藤 健(兵庫教育大学大学院生) 算数科における統計的リテラシーの育成に関する研究—データの傾向を強調するためにグラフをかきかえることの教材開発とその実験授業—	B-2 渡邊耕二(広島大学大学院国際協力研究科院生) 東南部アフリカ諸国における数学と読解力の関連性について—SACMEQ II・IIIの二次分析を通じて—	C-2 高阪将人(広島大学大学院国際協力研究科博士課程後期) 理科と数学における関数的考え方について	D-2 米田重和(佐賀大学文化教育学部) 「数学的活動」の充実に向けた教材開発に関する研究(1)	E-2 中和 渚(東京未来大学) 就学前教育のための『小さな数の本(Das Kleine Zahlenbuch)』の特徴(1)—カードに焦点を当てた考察—
3	16:20 17:00	A-3 大谷洋貴(新潟大学大学院院生) 統計の学習指導に関する基礎的研究	B-3 Gabriel Mwanza (Graduate School of International Development and Cooperation) "Analysis of the Upper Primary Level Mathematics in Zambia from the Perspective of Alignment"	C-3 久富洋一郎(広島大学大学院教育学研究科院生・広島県立呉宮原高等学校) 高等学校数学における理解を深めるための指導方法に関する研究(II)—創発的モデリングによる二次関数の学習指導における数学的活動のデザイン—	D-3 松島 充(静岡大学大学院教育学研究科院生・広島大学附属東雲小学校) 数学教育における社会的構成主義の基礎理論に関する一考察 —P. Ernestの変容を基に—	E-3 清水浩士(広島大学附属福山中・高等学校) 超越的再帰モデルの規範的適用(5)—学習指導案の作成指導—
4	17:05 17:45	A-4 Orlando González(広島大学大学院国際協力研究科博士課程) A Framework for Assessing Statistical Knowledge for Teaching held by Japanese Middle and High School Mathematics Teachers (III): Focusing on Variability-related Concepts	B-4 神原一之(広島大学附属東雲中学校) ザンビア数学授業の課題に関する一考察—授業実践能力強化(STEPS)プロジェクトへの参加を通して—	C-4 桑原怜那(広島大学大学院教育学研究科) 高等学校における数学的帰納法に関する研究(II)—数学的帰納法の理解に関する実態調査からの示唆—	D-4 岡本光司(元常葉学園大学教育学部) O.F.ボルノーの教育思想と算数・数学授業における「問い」	E-4 服部裕一郎(高知大学教育学部) 数学教育におけるクリティカルシンキングを育成する学習指導の在り方—中学校3年「相似の利用」を授業提案として—
懇親会(18:00～20:00) 大学会館1階食堂						

<第2日午前> 6月23日(日) 9時～12時

		A会場 (411教室)	B会場 (412教室)	C会場 (413教室)	D会場 (312教室)	E会場 (314教室)	
5	9:00 9:40	A-5 山本文隆 (長崎県立小浜高等学校) 中心力の仮想世界、逆二乗+逆三乗 = ベルトランの定理を問う =	B-5 早田 透 (広島大学大学院院生) 目的の漸進的發展という観点から捉える一般化過程	C-5 野原將宏 (大阪教育大学大学院) 高校数学における記号的表現の具象化に関する研究～1次プロセスと2次プロセスに着目して～	D-5 大橋健司 (広島大学大学院院生) 数学教育における表現力の育成方法に関する研究-「数学的表現力」を捉えるための理論的枠組み-	E-5 片野一輝 (新潟大学大学院院生) 算数教育におけるパフォーマンス・アセスメントに関する基礎的研究 (II)	
6	9:45 10:25	A-6 高木和久 (高知工業高等専門学校総合科学科) 3本の平行線を用いた点と直線の距離の公式の証明	B-6 佐々祐之 (熊本大学教育学部) 数学教育における操作的証明 (Operative proof) に関する研究 (III) ～操作的証明を取り入れた教授実験を通して～	C-6 濱中裕明・加藤久恵 (兵庫教育大学) 高校における構造指向の数学的活動に関する考察—教授学的状況理論の視点から—	D-6 清水邦彦 (立教新座中学校・高等学校) 数学教育における真実性と記述表現の一考察 —数学的な表現の主體的な活用を促す視点から—	E-6 紙本裕一 (広島大学大学院教育学研究科院生) 算数・数学教育における「聴く」力の育成についての基礎的研究 (I)	
	10:35 12:00	<p>全 体 会 (1 0 : 3 5 ~ 1 2 : 0 0) 4 1 5 教 室</p> <p>< 講 演 > 岩 崎 秀 樹 先 生 (広 島 大 学 大 学 院 教 育 学 研 究 科)</p> <p>演 題 : 「 これ からの 数 学 教 育 研 究 」</p>					

◎ 休憩室はD会場とE会場間の教室 (313教室) です。お茶などを準備しています。

<第2日：午後> 6月23日(日) 13時15分～16時

		A会場 (411教室)	B会場 (412教室)	C会場 (413教室)	D会場 (312教室)	E会場 (314教室)
7	13:15 13:55	A-7 小林文美子 (川崎医療短期大学) 物理と数学を関連づける微分概念の指導について	B-7 影山和也 (広島大学大学院) sensuous cognition 論からみた図形的概念形成	C-7 杉野本勇氣 (福山平成大学)・真野祐輔 (大阪教育大学) 数学教師教育のための高等学校数学科「課題学習」に関する批判的考察	D-7 渡辺 信 (生涯学習数学研究所) あいまいな数学 ー 数学教育の将来ー	E-7 高井吾朗 (愛知教育大学) 間主観的なメタ認知的知識についての一考察：一筆書きについての基礎調査
8	14:00 14:40	A-8 大滝孝治 (広島大学大学院院生) 確率指導における表記の問題：コモグニション論の視座から	B-8 伊達文治 (上越教育大学 (自然・生活教育学系)) 「幾何原本」とその幾何学受容への影響	C-8 小川達也 (大阪教育大学大学院) 高校数学科「課題学習」のカリキュラムに関する開発研究～計算多角形を用いた予備的分析～	D-8 上ヶ谷友佑 (広島大学教育学研究科院生) 数学的認識を特徴付ける数学的構造の規範性	E-8 加藤久恵 (兵庫教育大学) 算数授業における数学的表現とメタ認知に関する一考察
9	14:50 15:30	A-9 真野祐輔 (大阪教育大学) 無理数の学習における新たな記号表現の具象化の特徴づけ	B-9 片岡 啓 (和歌山大学教育学部) 師範学校立体幾何教科書の変遷			
閉会行事 (15:35～16:00) 411教室 (A会場)						

◎ 自動車で構内から出る際は、ゲートバーの直前で停車ください。